県、生活環境整備スピードアップ計画等

地域再生の2提案提出

県は6月30日、地域再生本部（本部長・内閣総理大臣）に地域再生計画の第2回提案で「生活環境整備スピードアップ計画」と「新エネルギーの導入促進による地域再生」の2案件を提出した。今後のスケジュールは、国が9月に提案募集等を検討し、予算編成に関連しないものと判断されれば決定される。なお、予算編成に関連するものと判断された場合は、17年1月に検討後、決定される予定。

「生活環境整備スピードアップ計画」では、下水道整備事業における元金償還金の返済が5年据え置きで、建設費のピーク時期に起債の元金償還が始まるため、事業計画期間の長期化、安定した料金収入の確保が図られないなど、事業の効果を低下させるような問題が生じている。

これらの課題解決への支援として、起債の償還期間のうち、据え置き期間を10年に延長することで、建設費の集中投資による事業の早期完了、事業期間の短縮による総建設費の削減、早期供用開始による安定した料金収入の確保など、下水道事業の効率的な実施が可能となるほか、下水道処理人口普及率の向上が図られるとしている。

「新エネルギーの導入促進による地域再生」は、地方公共団体がNEDO（新エネルギー産業技術総合開発機構）の「太陽光発電フィールドテスト事業」等を導入する場合、整備される施設はNEDOとの共有資産になること等から、従来、地方債の対象とされていない等の課題が生じている。

このため、支援措置として当初から施設を地方公共団体の所有とする仕組みの導入、もしくは当該事業を地方債の対象とすることを提案し、「太陽光発電フィールドテスト事業」等の活用による公共施設（小中学校・庁舎等）への太陽光発電等の導入を促進するというもの。

なお、本県の地域再生計画の認定状況は、第1回認定（16年6月21日）で①県「建設業の経営革新・新分野進出による活力ある地域の創造」②国分市「水と人とがふれあう夢のまち国分」③中種子町「障害者とともにくらす町づくり構想」④与論町「人と自然が輝くオンリーワンのまちづくり」となっている。

本県は指宿市と川内市

都市再生モデル調査　国交省

国土交通省は6月30日、全国都市再生モデル調査の対象となる162地区を発表した。国が構想の具体化に関する調査費などを配分し、都市再生活動を推進・支援する。566件の提案の中から先導的な都市再生活動を推進・支援する地域として都市再生本部が選定。本県では、いぶすき町づくり協議会（指宿市）の「住んでよし、訪れてよしのイブキの国づくり」と川内市の「河川舟運の復活による都市再生調査」の2地区を選んだ。

全国都市再生モデル調査地区は、①連携分野、狭間分野、NPOなどの民間まちづくり主体との協働分野②都市の魅力づくり、高齢化などに対応した新たなサービスやビジネスの創出など、まちづくりの核となるソフト施策③既存ストックの活用など、施設整備だけなく利用の高度化や成果重視の徹底による投資効用の拡大－の3点を重点項目として、「自ら考え、自ら行動する」先導的な都市再生活動を募集、選定した。

大工育成塾受入工務店募集

9月10日まで受付け

住宅研修財団

住宅産業研修財団（松田妙子理事長）は、国土交通省の補助を受け、次代を担う大工職人を育成する「大工育成塾」の17年度塾生の受入工務店を募集する。申し込みは9月10日まで。

応募資格は、①経営能力や技術能力の確保、向上に努めている②徒弟制度による修業経験があり、木造軸組住宅の工事に関する指導力と人格・見識に優れた棟梁が、社員または外注専属としている③伝統的な木造軸組住宅の実技指導に適した作業場と住宅建設現場を確保できる－など。

受入工務店は、財団と実技研修実施業務請負契約を結び、原則として受入先に最も近い場所に居住する塾生を受け入れ、実技指導を行う。受入工務店には、財団から実技研修費として1年目に100万円、2年目に90万円、3年目に80万円が支払われる。

詳しい内容は、財団ホームページ（http://www.hic.or.jp/daiku/）に掲載。

平良建設　ISO14001取得

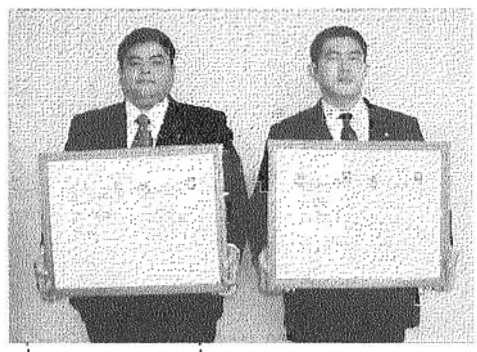
大島郡内では初

環境負担の低減に努力

㈱平良建設（平良文仁社長、名瀬市）はこのほど、大島郡内では初めてとなる環境部門のISO14001を取得した。認証機関はJAB、審査機関は日本科学技術連盟。認証範囲は建築設構造物の施工及び道路・河川・港湾・ずい道・上下水道等の土木構造物の施工、据付及び付帯サービス。コンサルタントの㈱ゼノシップから指導を受けながら、6月17日付けで取得に至った。

同社では昨年5月から、品質環境推進室の平良裕介室長を中心に本格的に取得に向け取り組みを開始した。小野浩一常務取締役は「現場施工に携わる地域への環境保全活動をまずは地球規模に置き換えて考え、マニュアル化することにより、少しでも環境負担を低減したい。また次世代に美しいままの奄美大島を託していきたい、という社長の思いから環境ISO14000シリーズの取得に踏み切った」と話す。

また、平良室長は「数ある規格の中でも一番苦労したのは全社員一人ひとりの意識改革だった。環境保全に対して常に意識できる社員になるよう徹底した教育訓練を実施した。今後は100年後の奄美が地球が美しい大自然を培ったまま持続できるよう環境に与えるさまざまな影響を少しでも多く見つけ出し、資源・エネルギーの効率的活用や地域へのボランティア活動を徹底、自社独自の方針に沿った手順書やマニュアル作りを行うことで、環境負担の低減と環境汚染の予防に努めたい」と抱負を述べた。



認証書を手にする小野常務（右）と平良室長＝名瀬市の同社で

日本溶接協会県支部

第2回溶接技能者評価試験

きょうから受付け

日本溶接協会県支部（相良達之支部長）は9月の4日間、「16年度第2回溶接技能者評価試験（検定試験）」を県内3会場で実施する。申し込みはきょう1日から14日まで受け付ける。

隼人会場は11日に姶良郡隼人町の県工業技術センター、鹿児島会場が12日（予備日19日）に鹿児島市のポリテクセンター鹿児島、川内会場が18日に川内市のポリテクカレッジ川内で、それぞれ行われる。

また、同協会では評価試験の合格率を高め、効率のよい資格取得を目指してもらうため、ポリテクセンター鹿児島の全面的な協力により準備講習会を実施する。9月8日（ステンレスは7日）に学科、9日に実技を鹿児島市の鹿児島職業能力開発促進センターで行う。

問い合わせ先は、同協会県支部（☎099・251・5518）。

福永建設

きょう、安全大会

福永建設㈱（福永和則社長、姶良郡加治木町）はきょう1日午後零時30分から、加治木町の文化会館加音ホールで安全大会を開く。

豊和建設・豊友会

4日に安全大会

豊和建設㈱・豊友会（増留宗一会長）は4日午前10時から、鹿児島市の鹿児島サンロイヤルホテルで安全大会を開く。

憂えるから長びく重くなる

精神免疫学の研究成果によれば、不安や恐怖、悲しみなどの負の心理に支配されると、よくなる病気も悪くなるという。逆に笑いや生きがいは、心と脳に働きかけ、自然治癒力を活性化する。憂いは百害あって一利なし。

（社団法人倫理研究所編）

きょうの天気

地方	天気	風	降水確率
薩摩	晴	北西のち西	0％
			0％
大隅	晴	北西のち西	0％
			0％
種子屋久	晴	北西のち西	0％
			0％
奄美	晴 昼過ぎから所一時雨	南東	0％
			10％

※降水確率：上段6時～12時、下段12時～18時

週間天気予報

日	曜	鹿児島・種子・屋久地方 天気	降水確率	気温	奄美地方 天気	降水確率	気温
2	金	時々	20%	32° 24°		40%	32° 24°
3	土	時々	30%	31° 25°	一時	50%	30° 25°
4	日	一時	50%	28° 25°	一時	50%	30° 25°
5	月	一時	50%	30° 24°	一時	50%	30° 25°
6	火		40%	31° 24°		40%	30° 25°

《概況》向こう一週間は、期間の初めは高気圧に覆われて晴れる所があるが、その後は低気圧や前線の影響で曇りや雨の降る日が多い。

行政動静

7月1日（木）

【県庁】
- 知事……在庁
- 副知事……庁外
- 土木部長……出張

【鹿児島市】
- 市長……市内
- 木村助役……市内

【鹿児島国道事務所】
- 所長……在庁
- 柴田副所長……在庁
- 赤星副所長……在庁

【川内川河川事務所】
- 所長……午前庁外、午後在庁

【大隅河川国道事務所】
- 所長……午前在庁、午後庁外

【鹿児島港湾・空港整備事務所】
- 所長……在庁

【志布志港湾事務所】
- 所長……午前在庁、午後庁外

【日本道路公団鹿児島工事事務所】
- 所長……庁外

※予定が変更になることがありますので、ご了承下さい。